

△産業宣教 永遠の絶対やぐらを建てたヨケベデ(出 2:1-10)	△レムナント伝道学 わざわざを止めるレムナントの 絶対やぐら(出 3:18)	△核心/RtDay 4 月 学院福音化	△散らされた弟子たち 動くやぐらと契約の箱 (ヨシ 3:1-13)
<p>重要な契約と<u>正確な契約</u>を聖日に深く祈りの中に入って握る。生かす契約がほとんど正確な契約になる。</p> <p>出 2:1-10 ヨケベデの契約が 80 年後に成就した。モーセは 40 年間、世界の文化を勉強し、40 年間、霊的な力を蓄えた。</p> <p>出 3:1-20 「血のいけにえを献げに行きなさい」というみことばを母親のゆえにモーセはわかった。</p> <p>□序論_あらかじめ</p> <p>1. 運命的祝福がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 未信者なのに、世の中を生かす政治家 2) 未信者なのに、世の中を良くする献身する産業人、 3) 世界宣教する産業人ならば、神様は祝福される。永遠なのだ。 <p>2. 証拠</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 宗教、学問、技術でも世界は生かすことはできない。分らなければ、奴隷、捕虜、属国になって、次世代は流浪の民になる。全世界がこのようになる道がない。 2) どんな国も戦争をまぬがれる道がない。 3) いくら立派な人が現れても、わざわざは止めることができない <p>3. なぜ、ただ福音なのか?</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) なぜ全世界にわざわざが続けて来るのか分からない。 2) 全世界は精神疾患が増加している。 △教会の中で起こる問題は、本質を逃してはならない。本質は生かすことだ。 3) 教会は門を閉じ始めるのに、これを止めるべきだ。 <p>□本論</p> <p>1. 暗闇時代を生かす福音のやぐらを作ったこと</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) レビの家の人 2) レビの娘 3) モーセ 途方もない福音のやぐらだ △問題がある教会信徒を生かすべき対象として見れば、皆さんに福音のやぐらが建つ。 <p>2. 祈る理由は、神様が私に与えられる正確な契約が来るようにすることだ。そうすれば、福音のやぐらが建てられて、絶対やぐらが建てられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 王宮に 2) 養子で行った。 3) 育つ時まで完全に福音を刻印させた。(出 3:18) <p>3. 働きが永遠のやぐらに変わる事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) する働きが永遠の嗣業(出 5:1-12:46)になって 2) 永遠の作品が作られる。 △すべての主の弟子とともに行かなければならない答えが三つの庭だ。 3) 永遠の遺産を残さなければならない。 <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>24</u> 祈りは運命を変えるやぐらだ。 2. <u>25</u> は空中の権威(エペ 2:2)の支配者に勝つやぐら。サタンに勝つ力が来る 3. <u>永遠</u> 私の中に御座のやぐらが建つことだ。 △私の絶対契約とやぐらを見つけるのだ。見つけるその瞬間から答えは始まる。 	<p>レムナントが受ける祝福は、わざわざを止める主役として呼ばれたことだ。神様のみことばは生きて働いているので、血のいけにえを献げに行きなさいと言われた。血を塗る日、抜け出し、荒野で血のいけにえを献げる間、荒野を抜け出した。それゆえ、レムナントは家で起こる問題と親にだまされてはならない。私たちの使命は、わざわざを止める主役だ。それでは、どのようにすれば、わざわざを止めるのか。</p> <p>□本論</p> <p>1. 出 2:1-10 (家系)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) レビ人は、礼拝をささげる部族。地にある分け前はないが、世界を征服することができる。福音を悟れば、何もなくても大丈夫だ。 2) 福音を刻印させたのだ。 3) 祈りが刻印されたのだ。 <p>2. 出 3:1-20 (世の中)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) このとき、年齢が 80 歳であった。神様が時刻表を待っておられたのだ。 2) ホレブ山で世の中に勝つやぐらを作り始めた。 3) <u>血</u>のいけにえをモーセは分かったので、驚くべきやぐらが建ち始めた。 <p>3. 出 5:1-12:46 わざわいを止めることが起こった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 10 の奇跡が起こったのだ。 2) 10 のわざわざ-暗闇の勢力に 3) 10 の祝福-契約を持っている人に <p>△レムナントは正確な契約を握りなさい。困難のように見えても、そこにレムナントの道がある。</p> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イスラエルの国と家系を生かしたのだ。 2. 事実世の中も生かした。多くの福音が証しされた。 3. モーセが記録したすべてを見れば、ものすごい霊的世界が記録されている。 	<p><u>絶対やぐら</u> <u>5力</u> <u>霊的サミット</u> -5 力を味わう絶対やぐらがある人が霊的サミットだ。</p> <p><u>霊</u>、<u>脳</u>-<u>知力</u>、<u>体力</u>-<u>いつも</u>、<u>経済力</u>-<u>生かす答え</u>、<u>人材力</u>-<u>弟子</u></p> <p>霊を生かすのは祈り(霊力)であり、脳を生かすのは呼吸だ。ここから知力が出て来る。これを常に味わえば体力が出て来る。経済力は生かす答えが起こる。そのときから、弟子が起こる。</p> <p>RT 7 -これがレムナント 7 人だった。</p> <p>常に 24 する集中祈りが必要だ。集中に一番良い鍵が呼吸祈りだ。すると、絶対計画が見え始める。</p> <p><u>奴隷</u>として行ったことは神様の<u>絶対計画</u>だ。</p> <p><u>ポティファル</u>の家に売られて行ったが<u>絶対契約</u>が見え始めた。</p> <p><u>監獄</u>に行った。これが<u>絶対旅程</u>だ。</p> <p><u>王</u>の前に立つようになる。<u>絶対目標</u>を見て行くことになる。</p> <p><u>絶対答え総理-世界福音化</u></p> <p>△「私は霊的サミットで、5 力を味わっているレムナントだ。この力で今も勉強する」これが刻印、セッティングされる時までは努力しなさい。</p> <p>1 課「エジプトの絶対やぐら」(出 2:1-10) -この力を持っていたヨケベデは危機のときに答えを受けた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヨセフのやぐら-この力を持っていたヨセフには、全部やぐらになるのだ。 2. イスラエルの危機 3. この力をいつも味わっていたヨケベデが答えを出して、この奥義をモーセに伝達した。 <p>2 課「エジプト?」-なぜエジプトに住むようになったのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イスラエルがこの力を持って世界福音化する本来の使命を逃した(創 12:1-3) 2. エジプト- 237, 5000 種族がいる所。それゆえ、レムナントを送ったのだ。 3. この使命をモーセに伝達した。 <p>3 課「なぜ 80 歳」-なぜモーセを 80 歳で呼ばれたのか</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 40 年エジプト、<u>世の中の学問</u>の勉強-世の中に引っ張られて行くのではなく、引っ張って行かなければならないので、知力を育てなさい。 2. ミディアン 40 年<u>5力</u>を育てなさい。霊力を育てなさい。 3. 80 歳<u>荒野</u>で-使命を果たしなさい。 <p>4 課「出エジプトの奇跡」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 10 のわざわざ 2. イスラエルには 10 の奇跡(祝福) -すべての現場のわざわざは皆さんには祝福で機会 3. 羊の血を塗る日に解放 <p>△味わいなさい。今でも 5 力を味わいなさい。癒やしが起こり、力が生じる。私たちには神様のことを味わう楽しいゲームだ。レムナントが行くすべての道は御座のキャンプだ。</p>	<p>荒野の道を行くのに、幕屋とやぐらが動くのだった。契約が動いて伝えられたのだ。</p> <p><u>ヨシ 1:1-9</u> 神様の契約は変わる事なく同じだ。「モーセとともにいる」そして「すでにカナンの地をあなたに与えた」強くあれ、雄々しくあれ。恐れてはならない」</p> <p><u>絶対やぐら-5力</u>を備えていた <u>CVDIP</u> あらかじめ備えた <u>霊的サミット</u> をあらかじめ持って、味わっていたこと</p> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出 23:13-16 見た人 <ol style="list-style-type: none"> 1) 逾越祭-救いであることを見た 2) 五旬節-力であることを見た 3) 仮庵祭-背景であることを見た 2. 幕屋 <ol style="list-style-type: none"> 1) 天幕-家が幕屋を中心に作られた。 2) 会見の天幕を作って幕屋に向かったり 3) 仮庵 イスラエル民族が移動する力を持って行った 3. 幕屋と契約がある所にどんなことが <ol style="list-style-type: none"> 1) 出 13:1-13 あらかじめ紅海を渡ることを約束(契約を始めるとき、杖で指すとき、紅海を分けるみわざ) 2) ヨシ 3:1-13 契約の箱を持った祭司の足が浸るとみわざが起こった 3) ヨシ 6:1-20 契約の箱を担いだ者が先立って回った。

△区域メッセージ第 12 週 見張り人の永遠の答え(イザ 60:18-22)	△聖日 1 部 世界福音化をする力とその始まり(使 19:1-7)	△聖日 2 部/癒やし福祉委員会献身礼拝 病んでいる者を癒やすことのできる教会(使 19:8-20)
<p>金土日-金曜日には、とても高級で聖書的で福音的な癒やしをして、土曜日には、<u>レムナント</u>をサミットにして、聖日には私にみことばの<u>流れ</u>、祈りの答えの流れ、伝道の流れの中のどこにいるのかを確認しなければならない。</p> <p>□序論 私たちは<u>見張り人</u>だ。見張り人は、<u>やぐら</u>があってこそ、見張ることができる。</p> <p><u>やぐら</u>の内容-プラットフォーム、光を照らす見張り台、アンテナだ。 <u>契約</u>-見張り人は、正確な契約を持っていないなければならない。 <u>タラント</u>-見張り人は、自分のタラントでキリストの光を放って、人々を癒やすように助けてあげて、レムナントも助けるのだ。このタラントは必ず守るべき 7 つがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> みことば-すべての世の中に起こることと、みことばを確認すべきだ。 キリスト-偉人の話をして、終わればキリストを話すべきだ。 三つの祭り-すべての国に祭りがあって、それを十分に理解して、三つの祭りを教えるべきだ。 礼拝-祈り-私たちに最も重要なのは目に見えないましいなので、祈りが何かを教えるべきだ。 ただ-神様が私に与えられる、ただを発見しなさい。 唯一性-私に他の人が見て知ることができる唯一性を待ちなさい。 再創造-他の人を生かす再創造の祝福を見つけて挑戦しなさい。 <p>□本論_イザヤ</p> <ol style="list-style-type: none"> 見張り人の現住所 <ol style="list-style-type: none"> 三位一体の神様が働かれる所だ。 御座の祝福がある所だ。 御使い-三位一体の神様が臨む所に主の御使いを派遣して、目に見えない作業が起こる 切り株-敵が来て、木をみな切っても、目に見えない切り株でまた、木が出る。 見張り人の旅程 <ol style="list-style-type: none"> インマヌエルだ。 神様が与えられた契約(イザ 40)だ。「私たちの神のことは永遠に立つ」 イザ 43:18-21 「荒野に道を、荒地に川が流れる」 イザ 60:1-22 全世界に向かって光を照らして、その光について行くのだ。 見張り人の目標 <ol style="list-style-type: none"> 大路を造りなさい。 もろもろの民のために旗を揚げなさい。 終日終夜、主を休ませてはならない。 <p>□結論_見張り人のスケジュール</p> <ol style="list-style-type: none"> 神の国を成し遂げる、それが最初のスケジュールだ。 答えを持って与えに行く。 一生に受ける答えを私が見つけて伝達するのだ。 永遠に残ることを見上げて行って、それを伝達するのだ。 <p>△マコ 11:24 に「祈り求めるものは何でも、すでに得たと信じなさい」</p>	<p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> キリスト 3 職の大使として行きなさい <ol style="list-style-type: none"> キリスト-サタンに勝ったまことの王、わざわいを止めるまことの祭司、地獄の権威を打ち破ったまことの預言者 信じればシステムが作られる。 霊的サミットの力、5 力を備えなさい。 <ol style="list-style-type: none"> ホレブ山、変貌山、オリブ山-霊的サミットに先になりなさい。刻印させれば、ものすごいやぐらが作られる。 5 力を備えなさい。 <ol style="list-style-type: none"> (1)世の中が知らない霊的な力 (2)神様が上から与えられる知力 (3)日が経つにつれ健康になる体力 (4)光の経済、経済力回復 (5)人材力 私に刻印させてシステム作る集中方法を見つけ出しなさい <ol style="list-style-type: none"> 私の弱点と強みを活用して祈り(伝道者-呼吸祈り) 証拠 <ol style="list-style-type: none"> (1)3 職の大使として神様が与えてくださった 5 力を持って行った ヨセフ (2)初代教会 (3)パウロ 先に知らなければならない二つのこと-福音と祈り <ol style="list-style-type: none"> 福音はすべての問題の解決 祈りはその事実を味わうこと-24 見張り人、24 平安、24 力、24 安息、24 5 力、24 7 やぐら・旅程・道しるべ味わうこと <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> 証拠を握りなさい <ol style="list-style-type: none"> ヨセフ-未信者が「主がすべてにあなたとともにおられる」と告白 ホレブ山でこの祝福を悟ったモーセ このシステムが作られて、やぐらが建ったサムエル(1 サム 3:19) 主が私の羊飼いなので乏しいことはないと告白したダビデ あなたを見張り人として立てたので、終日終夜、主を休ませてはならない。 ダニエルが常に神様に祈るということを王が感じた パウロ-絶えず祈り、いつでも聖霊にあって祈り 確信を持ちなさい。確信を持っただけ刻印が変わり始める。 <ol style="list-style-type: none"> 神の国のこと 確信を持ってひたすら祈り(使 1:14) → 五旬節の日聖霊に満たされる働き 使徒の教えを受けて、パンを裂き、祈りに専念(使 2:42) -確信 この裁判官でこそ解決することができるという確信を持ってあきらめなかった女(ルカ 18:1-5) 毎日宮で、毎日家で(使 2:46) すべてのこと、現場に絶対やぐらを建てなさい。天地開闢が起こる <ol style="list-style-type: none"> 初めての宣教地で(使 13:1-4) 2)門が閉ざされた時(使 16:6-10) ティラノを回復する前、ローマに行く前に絶対やぐらを建てた(使 19:1-7) <p>□結論 「完了した」信じなさい</p> <ol style="list-style-type: none"> 皆さんの苦難はみな終わらせた。苦難が来れば全部祝福の道になる 皆さんを倒そうとするサタンのすべての呪い、わざわい、地獄の背景十字架で終わった。これを握って祈りなさい。 今日を最高に作りなさい。絶対やぐらが何か祈りなさい。 	<p>霊的に苦しんでいる人は、医師の話に 100%従順にしなさい。落ち着いた状態で、弱っている脳を生かすのだ。運動もしなければならぬ。食事でも調節しながら二つのことをしなさい。祈りに深く入れるほど、ゆっくり呼吸しなさい。答えも望まずに本当に祈りなさい。聖書を見れば、特別に神様が祝福された人がいる。強大国が偶像神殿を作って仕えさせるのに、そこに対抗した人を神様が用いられた。霊的問題を持っている人を癒やすことを準備する教会を神様は最も祝福される。</p> <p>□序論_ただ福音だけを伝える教会に無条件、働かれる理由</p> <p>1. 急増する霊的問題 1) 精神病 2) 悪霊につかれた病氣 3) 中毒時代が来る △ただ福音だけで解決される。それゆえ、ただを分かるその日、働きは始まる。福音と、ただ福音は天と地の差だ。ただ福音、ただ伝道!</p> <ol style="list-style-type: none"> 不治の病 1)がん 2)障がい 3)使 13:5-12、16:16-18、19:8-20 △力を育てなさい。聖書に祈り、伝道運動した人々は、高齢な時まで力があつた。 教会がこれを癒やすことができずにいる。 <ol style="list-style-type: none"> 1)ヘロデ神殿(三庭 x) 2)中世教会(序列争い) 3)現代教会 <p><u>カルト</u>、<u>3 団体</u>に人々が行っている。</p> <p>□本論_どのように?</p> <ol style="list-style-type: none"> 刻印を変えること <ol style="list-style-type: none"> 1)使 19:1-7 マルコの屋上の部屋にあつた 5 力を回復 2)使 19:8 3か月の間、神の国を説明 3)弟子(批判する者)が起きた 根癒やし <ol style="list-style-type: none"> 1) 9 節-弟子たちを別に 2)講堂 3)二年間みことば集中(10 節) 体質変化 <ol style="list-style-type: none"> 1)巡回祈禱師(13 節) 2)スケワの息子(14 節) -皆さん行く所に暗闇文化が逃げる。 3)悪霊につかれた者(15-16 節) -悪い霊は皆さんを分かる。皆さんが行けば砕かれるようになる。皆さんがいつあきらめるかも知っている。契約を握って行くのだ。答えは必要ない。それが答えだ。 4)神様を恐れあがめる(17 節) 5)悔い改め(18 節) 6)書物を燃やす(19 節) 7)みことばは力強く広まり、勢いを得るのだ(20 節) -神様のみことばの力が臨むとき、すべての暗闇は砕かれるようになっていく。 <p>△刻印されたとおり答えが来る。根を下ろしたとおり実を結ぶ。体質になったとおり運命が変わる。いま、この時間に主の使いを送って、天の御座の力で働いておられることを信じるべき。答えは確認すれば良い。祈って求めたことは受けたと信じなさい。</p> <p>□結論_方法「福祉化」</p> <ol style="list-style-type: none"> 三つの庭 2. 24、25、永遠になってこそ準備されたこと 多民族、病人だ者、レムナントが来て休憩(安息)できる所でなければならない。